

大学等名：新潟工科大学

学生の夢を叶え、質保証するための学修成果の可視化

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

本学が取組んだ本事業のテーマは、「学修成果の可視化」である。学生たちが日々成果を生み出し、その達成感を得ながら学びの改善ループを完遂させる「学修成果の可視化システム」を設計した。さらに、ディプロマ・ポリシーに基づいた有機的な授業体系とすべく、教員らによる教学マネジメントの改善ループを連動させる。学生は、「学びのPDCAサイクル」を、教職員は「教学マネジメントのPDCAサイクル」を、それぞれ回す。学生一人ひとりの学修成果を常に見える仕組みをつくり、これを起点とすることによって、強固なPDCAサイクルを構築することを目標にした。

- ・ポートフォリオを基軸とした①ルーブリック、②到達度テスト、③企業との対話による評価により、学修成果の可視化を行う。
- ・可視化によって「学修目標・計画⇒学修⇒学修成果の可視化⇒きめ細かい学生指導⇒学修計画の改善」という学生の学びと、「3つのポリシーを基本とした教育目標・計画（シラバス）⇒教育⇒学修成果の可視化⇒FD⇒内部と産業界等からの外部評価⇒教育計画・教育方法の改善」という教学マネジメントの2つの改善ループを構築する。



具体的な実施計画における指標	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
退学率	2.10%	2.00%	2.05%
プレースメントテストの実施率	100%	100%	100%
授業満足度アンケートを実施している学生の割合	100%	100%	100%
上記アンケートにおける授業満足率【講義/体育実技/実験】	78/87/79%	75/90/85%	70/87/74%
学修行動調査の実施率	88.1%	100%	100%
学習到達度調査の実施率	0%	100%	100%
学生の授業外学修時間（学生生活実態アンケートより）	6時間	12時間	7.5時間
学生の主な就職先への調査	有	有	有

	平成26年度 (実績値)	令和元年度 (目標値)	令和元年度 (実績値)
ラーニングポートフォリオの学生利用率	0%	100%	100%
ルーブリックで評価を実施した科目（ゼミ・実験科目のうち）	0%	100%	100%
到達度テスト・資格取得による可視化	20%	100%	100%
企業との対話による評価	25%	100%	100%

・厳正な成績評価と学修成果が明確となり、客観的な学生指導及び学生個々の到達度の伸長を図ることが容易となる。

・学修成果の可視化を基軸とした「学生の学びのループ」「教学マネジメント改善のループ」の構築を図ることにより、教育改革を進め、産業界や地域が求める人材を育成する。